

宣 言 ・ 決 議 (案)

宣 言

埼玉県退職校長会は、埼玉教育の振興に寄与するとともに、会員の親睦と福祉の増進を図ることを目的として昭和40年に結成され、以来、組織の充実・強化を図りながら目的達成への努力を重ねてきた。

今日、我が国は、改元、東京オリンピック・パラリンピック等、歴史的なできごとに向けて新しい時代の幕開けを迎えている。また、東日本大震災・原発事故をはじめ、自然災害等からの復旧・復興の歩みとともに、少子高齢化等による人口減の社会、グローバル化の進展、技術革新等により社会構造や雇用環境は変化しており、将来予測の困難な時代となっている。

このような時代にあって、心身ともに逞しく生きる日本人の育成には、「よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し「社会総がかり」で教育を行うことが大切である。

さらに、急激な政治・経済・社会の変動に伴う年金制度改革や高齢者医療・介護保険制度をめぐる動向を注視し、会員の福利厚生増進に努める必要がある。

我々は、教育の現状と会員の福祉にかかわる諸課題を正しく見据え、教育行政機関及び教育諸団体との連携をいっそう強化し、日本国の発展に尽くす人材の育成を目指した教育の進展に寄与するとともに、会員の福利厚生さらなる増進に努める決意を新たにすることとする。

ここに、下記事項を決議し、その実現を期する。

決 議

- 1 教育尊重の機運をよりいっそう高めるため、「彩の国教育の日」の取り組みを積極的に支援するとともに、全国組織と連携し、国民の祝日「教育の日」制定の活動を推進する。
- 1 生涯学習活動の振興と学校安全等に関わる教育支援のいっそうの充実に努め、埼玉教育の活性化に寄与する。
- 1 生活基盤である会員の年金制度の充実と、叙勲枠の拡大に努める。
- 1 会員の福利厚生さらなる増進を図り、豊かな生きがいを実現する。
- 1 組織の充実・強化に努め、活動の活性化を図る。

令和元年6月7日

第55回 埼玉県退職校長会定期総会